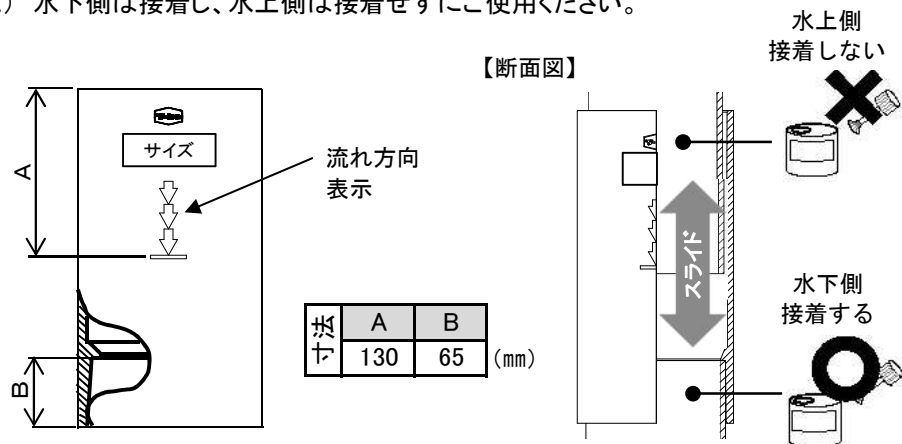


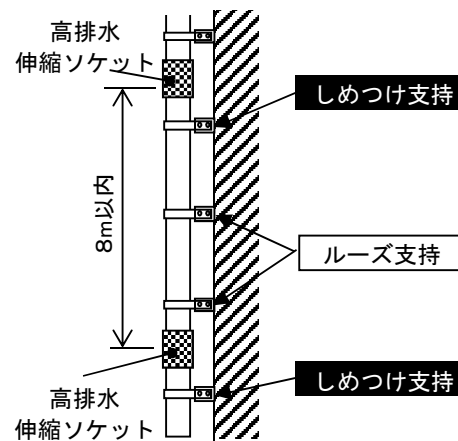
1 製品説明

- 1) 本製品は、大型高排水システム専用の伸縮ソケットです。JIS管(堅といVP125)と接続できます。
- 2) 水下側は接着し、水上側は接着せずにご使用ください。



施工例

- ・ 8mごとに高排水伸縮ソケットを取り付けてください。
- ・ 高排水伸縮ソケットの直下にある支持具は堅といVP125がズレないようにしっかり締め付け留めてください。



しめつけ支持

全てのボルト、ナットがしっかり締め付けられており、支持箇所には荷重が加わっても移動しないように(下がらない、上がらない)固定された状態。

ルーズ支持

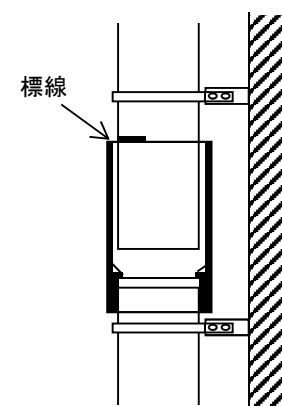
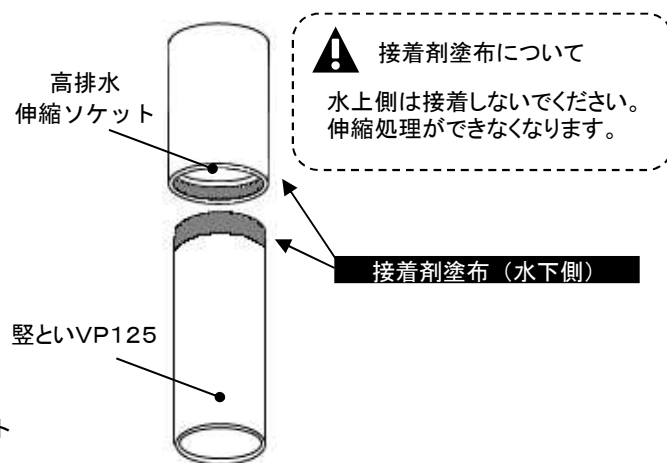
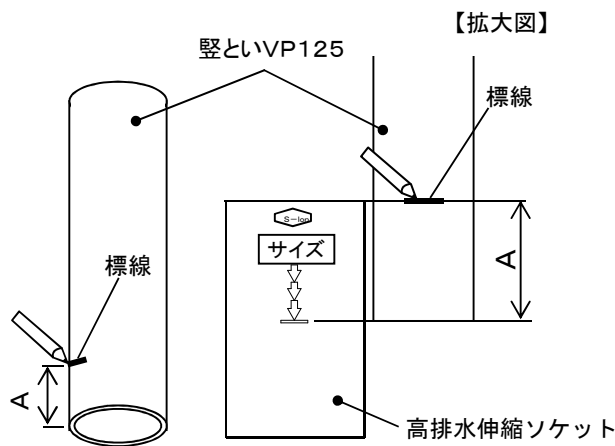
堅といが自重により容易にずり落ちない程度。上記「しめつけ支持」よりも、緩めに支持具に固定された状態。

⚠ 施工の注意点

1. 枝管のある施工には使用できません。
2. 万一のオーバーフローを考慮し、底下などでの伸縮処理は差込ソケットをご使用ください。(差込ソケットは4m毎に1箇所設けて下さい)

2 接続方法

- 1) 高排水伸縮ソケットの水上側の堅といVP125に挿入代の標線をつけてください。
- 2) 高排水伸縮ソケットの水下側と堅といVP125に塩ビ管用接着剤(No.73)を塗布してください。
- 3) 高排水伸縮ソケットの水上側に堅といVP125を標線の位置まで挿入してください。



⚠ 挿入位置について

表示よりも長すぎても短すぎても下記のような問題が発生します。

短い → 抜ける → 水漏れ

長い → 突き当たる → 割れ

大型高排水システム施工時の注意事項

大型高排水システムを施工する際は、以下の条件に従ってください。

1) 専用部材

専用部材を必ずご使用ください。専用部材を使用しない場合、高排水システム本来の排水能力が得られず従来の排水能力となります。

1. 落水口は高排水ドレンを使用してください。
2. 高排水100及び高排水125はVP管にのみ対応したシステムです。
3. 振り施工で使用するエルボは高排水エルボ・45°エルボまたはVUSソケットを使用してください。
4. 伸縮処理には高排水伸縮ソケットをご使用ください。（使用する伸縮処理部材等で建設会社様・設計会社様の仕様書がある場合は、その仕様をご確認下さい。）

(表1) サイズ別システム構成

大型高排水システム	専用部材			継手			竖とい		軒とい	
	高排水ドレン	高排水エルボ	高排水伸縮ソケット	45°エルボ	ソケット	VUSソケット	VU管	VP管	超芯	加工とい(コイル)
高排水VU・VP75	VUT75	DVML 75-90°	VU・VP75 ※1	DV45- L75-45°	DVDS75	VUS75	VUC75	VPC75	V/P300 V/P500	エスロコイル
高排水VP100	VPT100	DVML 100-90°	VP100 ※1	DV45- L100-45°	DVDS100	VUS100	-	VPC100	V/P500	エスロコイル ※2
高排水VP125	VPT125	DVML 125-90°	VP125 ※1	DV45- L125-45°	DVDS125	-	-	VPC125	-	エスロコイル ※3

※1 万一のオーバーフローを考慮し、底下などでの伸縮処理は差込ソケットをご使用ください。（差込ソケットは4m毎に1箇所設けて下さい）

※2 高排水VP100は、高排水ドレンの寸法制約上、エスロコイルの幅を200mm以上で施工して下さい。

※3 高排水VP125は、高排水ドレンの寸法制約上、エスロコイルの幅を250mm以上で施工して下さい。

2) 施工条件

大型高排水システムの施工条件に従って施工して下さい。従わない場合、高排水システム本来の排水能力が得られず従来の排水能力となります。

(表2) 大型高排水システムの施工条件

大型高排水システム	呼びとい長さ	竖とい高さ	伸縮ソケット基準	合流部	最大離隔距離	埋設横管※5	
高排水VU・VP75	1m以内	3m以上	8mに 1箇所	3m以上※4	①落水口-止り : 15m以内 ②落水口-落水口 : 30m以内	200A以上	SHASE-S 206 給排水設備基準 準拠
高排水VP100	1m以内	8m以上※6	8mに 1箇所	合流できません		250A以上	
高排水VP125	1m以内	8m以上	8mに 1箇所	合流できません		300A以上	

※4 高排水VU・VP75の合流部の枝管管径はVU・VP75/65/50が使用できますが、いずれも合流部までの竖とい長さは3m以上を確保する必要があります。

また本管側は高排水とし、枝管側は従来排水として下さい。枝管側を高排水にして本管側に接続することはできません。

※5 地中マスは降雨強度と竖とい1本あたりの受け屋根面積による排水量に応じて、マスサイズ・埋設横管サイズを設定して下さい。

※6 高排水VP100を超芯V/P500と組み合わせて施工する場合に限り、**竖とい高さは3m以上**で施工が可能です。

その他部材の施工時の注意事項については、各部材の施工手順書に従って施工して下さい。